

# テツカエデ

## *Acer nipponicum* Hara

ムクロジ目 ムクロジ科 トチノキ亜科 (クロンキスト体系: カエデ科)

日本で最も大きな葉をもつカエデである。葉の表面が縮緬状。葉裏の基部の毛の生えぐあいが異なるものがある。葉が厚く木の下が薄暗くなる。花は一つの花序に雄花、両性花が混じるものと雌雄異株もある。基本形はvar. *australe*とされている。鉢植えをする場合、皿で受けて水を張っておくとよい。相当の水分を与えないと成長が遅くなる。

原産地・分布: 日本

## ***Acer* 属 花産業必修1000属検定 C級**

カエデ属: イロハモミジ、イタヤカエデ



千葉大学大学院園芸学研究科 2024-12-24

Name ID: 8815